

TAHARA

9 まちづくりの取組体制

田原市街地のまちづくりは、行政による取組、市民による取組、協働の取組がそれぞれ効果的に実施されることにより、田原市街地の将来像が実現し、市民のみなさんの夢や幸せの実現に貢献することを目指します。



ビジョンの策定体制と市民会議等の声

このビジョンは、田原市と田原市街地まちづくり会議が協働で策定しています。田原市は関係課の若手職員による「田原市街地計画室内検討会議」、田原市街地まちづくり会議は地域の若手在住・在勤者等による「田原市街地まちづくり市民会議」を精力的に開催して、ビジョンを取りまとめました。

市民会議等の声

定住環境の創出

- 家庭菜園付きの住宅、駐車場の広い住宅など、個性ある戸建住宅を供給する。
- 「シェアハウス」等の新しい住まい方を促進する。

市街地の整備

- 渥美半島での本格的なサイクリング拠点となる施設を設置する。
- 駅周辺にホテルやオフィスビルを誘致する。

歴史・文化・景観の活用

- 景観形成や安全性確保のため、無電柱化を検討する。
- 旧渥美線廃線跡やトロッコ線路跡に、記憶を継承するための工夫を行う。

商業等による賑わいと仕事の創出

- 渥美半島の農畜産物や水産物を扱い、地産地消及び地産外商に貢献する店舗を増やす。
- 豊橋に行かなくても市民の買い物・飲食・娯楽ニーズが満足する店舗を誘致する。
- 新しく店を開きたい人、ビジネスをしたい人が田原市街地に集まるような環境をつくる。

福祉環境の充実

- 親子が気軽に集い、情報交換できる場所を設ける。
- 女性の感性により田原市街地の魅力を発掘し、情報発信する。
- 空き家等を活用して認知症カフェを設置する。

移動と情報通信基盤の充実

- 市民が超小型モビリティ等の自動車を体験できるように、イベント等において体験走行を実施する。
- バス停周辺の住民や事業所が、軒先や門前等を開放してバスの待合場所として提供する。
- 住民や事業者による地域の身近な情報の発信を促進する。

防災力・防犯力の向上

- 消防団への参加を促進とともに、女性や子どもの消防団活動への参加を検討する。
- ウォーキング、ジョギング、犬の散歩等と連携した防犯パトロールを促進する。
- 子ども110番の家を充実させるとともに、女性や高齢者が緊急時に駆け込める場所を増加させる。

田原市街地まちづくりビジョン 平成28年3月

田原市 都市建設部 街づくり推進課／田原市街地まちづくり会議
TEL 0531(22)1111(代表) <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



TAHARA

1 田原市街地まちづくりビジョンとは

【ビジョン策定の意義】

田原市においても人口減少、少子高齢化を迎える中で、田原市街地の本来の役割である「生活の拠点」「田原市の玄関口」としての機能再生を図ることは、田原市街地だけでなく、田原市全体の利便性を向上させるとともに、渥美半島全体を元気にすることになり、本市の人口減少を食い止めることにも繋がります。そのため、中・長期的な視点に立ち、田原市街地の将来像やまちづくりの基本方針、必要な取組を記載したビジョンを策定しました。

【計画期間】平成28年度～平成47年度のおおむね20年間。

【対象範囲】市街化区域の約360ha。中央公園を含む一部の市街化調整区域も検討対象。

2 田原市街地の役割と課題

【田原市全体から求められる役割】

◆田原市の活力を支える人口の確保

本市全体の人口は、今後、急激な減少が予想されています。このような中で、田原市街地は、臨海部従業者をはじめとして多くの居住ニーズがあることから、市外からの転入者の受け皿として、また、旧赤羽根町や旧渥美町からの市外転出を抑制するタム機能として、本市全体の活力を支えていく人口確保への貢献が求められています。

◆田原市全体の活性化や市民の利便性の向上

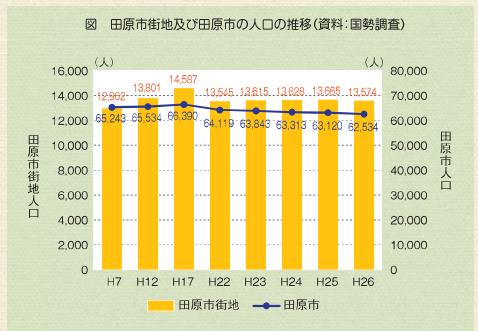
田原市街地が田原市の玄関口として、地域資源など地域の魅力を発信することにより、本市全体の経済や観光の活性化に貢献することが必要不可欠となっています。

また、豊橋など市外に求めている買い物、飲食、娯楽等のニーズを、できるだけ田原市内で充足できるようにするとともに、渥美病院の高度医療化、教育環境の確保など、田原市街地内の課題解決だけではなく、田原市全体の利便性向上につながるまちづくりが求められています。



【田原市街地の課題】

- 定住促進に貢献する住宅・住環境の確保
- 商業等の活性化と仕事の創出
- 都市基盤施設の整備
- 子育て環境の充実
- 地域資源のまちづくりへの活用と景観形成
- 高齢者や障がい者が活躍できる環境整備
- まちなかの回遊性の向上
- 移動利便性の確保
- まちと暮らしの安全性の向上



3 田原市街地の将来像

渥美半島の魅力が感じられ、市民の暮らしを育む元気なまち

20年後は、行政・商業・業務・医療・教育・交通などの機能が充実し、田原市街地の住民だけでなく、赤羽根や渥美地域を含めた田原市民全体にとって利便性の高い「元気なまち」になっています。また、田原市の玄関口として渥美半島の地域資源を活用し、その魅力や情報を発信することで、市民にとっても、観光客をはじめとする来訪者にとっても「田原らしさ」を感じることができると想定されるまちになっています。



4 まちづくりの基本方針

◆誰にとっても住みやすいまちづくり

生活利便性の向上、雇用・仕事の場の創出、商業の活性化、福祉環境の充実、新たな住宅地の供給等により、誰にとっても住みやすい、住んでみたいくなるまちづくりを行います。

◆訪れやすく、訪れたくなるまちづくり

道路や公共交通の利便性向上、良好な歩行空間の形成、都市的サービスや観光的サービスの提供等により、市民や来訪者が訪れやすい、何度も訪れたくなるまちづくりを行います。

◆田原の個性が感じられるまちづくり

歴史・文化・景観や豊富な農産物・海産物等の魅力的な地域資源の活用により、「田原らしさ」が感じられるまちづくりを行います。

◆誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり

安全にまちを移動できる空間の確保、防災・防犯の充実等により、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを行います。

◆みんなで取り組むまちづくり

住民・事業者・地域・行政の協働の促進、市民が地域で活動する場や機会の創出により、みんなで取り組むまちづくりを行います。

5 まちづくりの具体的な目標

目標	目標指標	基準値	目標値
目標1 田原市街地に住む人を増やす	居住人口	14,561人 (H26)	17,473人 (H47)
目標2 ビジネスや観光の来訪者を増やす	三河田原駅降車人数	598,885人 (H25)	632,143人 (H47)
目標3 産業や経済活動を活性化させる	民営事業所数	781事業所 (H24)	825事業所 (H47)
目標4 田原市街地住民の幸福感の向上を目指す	市民意識調査での幸せの点数8点以上の割合	42.2% (H24)	50%以上 (H47)

TAHARA

⑥ 田原市街地の将来構造



- ① まちなか賑わいエリア
田原市の玄関口における集客・交流拠点として、商業の活性化・賑わいの創出を図り、市民・来訪者交流エリアとともに、田原市のシンボルロードの沿道としてふさわしい人通りの多いエリア
- ② まちなか賑わい居住エリア
飲食店を中心とした商業の活性化を図るとともに、駅に近いという利便性を活かした居住環境の整備により、活気あふれたエリア
- ③ 市民・来訪者交流エリア
三河田原駅を中心として交通結節点の機能を有するとともに、低・未利用地を活用して商業の活性化・賑わいの創出を図り、多くの市民や来訪者が集い、交流するエリア
- ④ 沿道賑わいエリア
市民や近隣住民のための商業・サービス施設と住宅が調和しながら立地し、生活の賑わいが感じられるエリア
- ⑤ 沿道商業・産業エリア
沿道利便性を活かした商業・サービス施設が数多く立地し、まちの活力が感じられるエリア
- ⑥ まちなか居住エリア
利便性と良好な住環境を兼ね備えた、空き家・空き地の少ないエリア
- ⑦ 文化・福祉エリア
文化施設、福祉施設を中心に、家族向け、高齢者向け等の集合住宅も立地する、良好な住環境の住宅エリア
- ⑧ 歴史・教育エリア
豊富な資源を活用し、歴史・文化とふれあえるようなエリア。学校施設に安全に通うことができる閑静な住宅エリア
- ⑨ 文教・居住エリア
城下町の風情が感じられ、緑地の中に学校やゆとりある低層戸建住宅が立地する閑静な緑住エリア
- ⑩ 住環境創出エリア
田原市街地の住宅ニーズを的確に受け止める、良好な住環境を備えた定住向け住宅を供給するエリア
- ⑪ 福祉エリア
福祉センターを中心に、高齢者、障がい者、子ども等の多様なニーズに対応できるエリア
- ⑫ 医療エリア
総合病院である渥美病院の診療科充実など機能の高度化により、田原市民のニーズにあつた医療を受けられるエリア
- ⑬ 防災・公共サービスエリア
防災の拠点であり、市役所を中心とした公共サービスを気軽に受けられるエリア

⑦ 「元気なまち」にするための取組

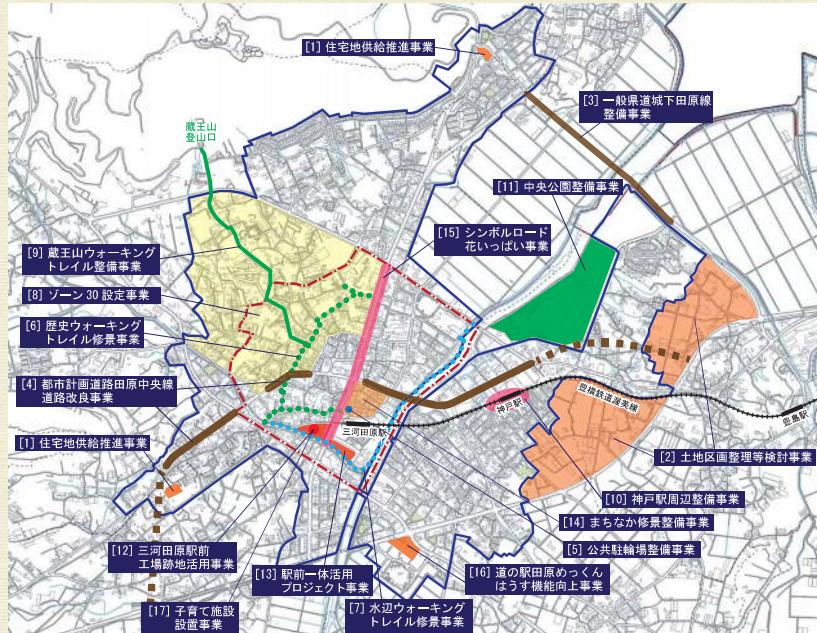


TAHARA

8 主な取組

ハード事業

事業名等	事業の概要	実施主体
[1] 住宅地供給推進事業	低・未利用地の活用等により、定住を促進するための宅地供給を実施する。	田原市
[2] 土地区画整理等検討事業	新たな住宅地供給に向けて、鉄道駅周辺における区域について、区画整理等を検討・実施する。	民間事業者 田原市
[3] 一般県道城下田原線整備事業	津波や高潮からの防潮堤の役割と緊急輸送路としての役割を担う道路整備をする。	愛知県
[4] 都市計画道路田原中央線道路改良事業	未整備区間の道路拡幅・船倉橋改良、歩道整備、交差点改良等を実施する。	愛知県 田原市
[5] 公共駐輪場整備事業	三河田原駅の北側付近に公共駐輪場を増設する。	田原市
[6] 歴史ウォーキングトレイル修景事業	中心市街地内の歴史資源を結ぶ道路を散策路として舗装美化等の修景整備を行う。	田原市
[7] 水辺ウォーキングトレイル修景事業	清谷川左岸道路を散策道として舗装美化化、桜並木整備等の修景整備を行う。	田原市
[8] ゾーン30設定事業	通学者等の歩行者・自転車通行量の多いエリアにおいて、交通規制と道路構造の改善等を図る。	田原市
[9] 蔽王山ウォーキングトレイル整備事業	歴史ウォーキングトレイルから蔽王山登山口に至る道を散策路として整備・修景する。	田原市



事業名等	事業の概要	実施主体
[10] 神戸駅周辺整備事業	田原中央線から神戸駅改札口へのアクセスを向上させるための歩行者道路等の整備を行う。	田原市 豊橋鉄道株式会社
[11] 中央公園整備事業	運動公園を整備する。	田原市
[12] 三河田原駅前工場跡地活用事業	地域資源を活用した飲食店等の整備など、市民・来訪者向けの複合施設を整備する。	株式会社あつまるタウン田原 田原市
[13] 駅前一体活用プロジェクト事業	三河田原駅南側の低・未利用地(2,000m ²)について、三河田原駅前工場跡地などと一体的に活用することにより、商業機能等を強化する。	田原市
[14] まちなか修景整備事業	田原中央線以南のまちなか賑わい・居住エリアについて、道路景観舗装、街路灯の環境整備等を実施する。	田原市
[15] シンボルロード花いっぱい事業	田原駅通り線及びはなとき通りを中心に住民と協働で花のある植物を配置し、季節感のある、歩きたくなる道づくりを行う。	まちなか賑わいづくり実行委員会 地域 田原市
[16] 道の駅田原めくはんうす機能向上事業	外国人観光客への対応・体験・交流機会の提供、オリジナル商品開発・雇用創出、6次産業化施設の設置等により道の駅の機能強化を図る。	田原市 田原市商工会
[17] 子育て施設設置事業	三河田原駅前工場跡地において、子どもの屋内遊び場や親子が集まる交流スペースを設置する。	田原市

ソフト事業

事業名等	事業の概要	実施主体
空き家・空き地バンク活性化事業	既存の空き家・空き地バンクの物件数を増やすとともに、家主や地域と居住希望者とのマッチングを強化する。	田原市
バリアフリー化推進事業	公共施設や道路等における段差解消、点字ブロック敷設、路上障害物除去等を行う。	田原市
伝統行事等保全・継承事業	地域において実施されているまつりや伝統行事について、継続的に開催するとともに次の世代に継承するための記録の作成等を行う。	地域
まちなか景観ガイドライン策定事業	景観基本計画の景観重点整備地区（候補地）として、三河田原駅周辺及び田原城跡周辺において景観形成基準を策定する。	田原市
産業人材育成事業	商人塾や各種講座により新規創業者などの人材育成を行い、出店・起業してくれる人の増加を図る。	田原市商工会 株式会社あつまるタウン田原 田原市
まちなか賑わいイベント開催事業	まちなかパレ、市民音楽祭などのイベントを定期的に開催する。	株式会社あつまるタウン田原 田原市
幸せの四つ葉プロジェクト事業	四つ葉をコンセプトとした商品の開発・製作・販売・イベントを通じて、障がい者の支援、店舗の活性化を図るとともに、販売店をまちの観光案内所として機能させる。	株式会社あつまるタウン田原 田原市 民間事業者
赤ちゃんの駅設置促進事業	公共施設、民間施設において授乳やおむつを交換できる場所の設置促進を図る。特に、民間施設等の登録を開始して「赤ちゃんの駅」の拡充を図る。	民間事業者 田原市
レンタカー、カーシェアリング誘致事業	田原市内の移動手段の多様化を図るため、三河田原駅付近にレンタカー、カーシェアリングの実施を誘致する。	株式会社あつまるタウン田原
公衆無線LANポイント増設事業	ビジネスや観光の来訪者の利便性の向上を図るため、田原市街地内における公衆無線LANポイントを増設する。	田原市 民間事業者